

専門委員会開催報告

会合名	「ブロック型高温ガス炉の安全基準の調査研究」研究専門委員会 第3回ワーキンググループ
会議種別	本会議 幹事会 メール審議 その他*(WG) <small>*分科会、WG等具体的に記入のこと</small>
開催日時	2024年5月20日(月)13:00~14:45
開催場所	オンライン(Teams)
参加者名	山本章夫主査、野本恭信幹事、糸井達哉委員、加内雅之委員、坂場成昭委員、 佐藤博之委員 オブザーバー: 佐久間渉、今野眞樹、荏澤貴之
議事	<p>1. 第5回委員会の議事次第案 第5回委員会の議題を確認した。</p> <p>2. 第5回委員会の論点 資料5-5(第5回研究専門委員会の論点)を用いて、第5回委員会の論点を説明した。</p> <p>3. 第4回委員会コメントへの回答 資料5-6(研究専門委員会における委員コメントへの回答(第4回委員会))を用いて、第4回委員会で頂いたコメントに対する回答案を説明した。深層防護実装案で前提とする、「炉心の著しい損傷の実質排除」の説明根拠となる燃料破損限界に係るデータが不足する場合、議論が進まなくなるため、データ不足部分を事務局が整理の上、共有することを確認した。</p> <p>4. 深層防護実装及び許認可対象事象選定の方針 資料5-7(高温ガス炉の深層防護実装及び許認可対象事象選定の方針)を用いて、深層防護実装及び許認可対象事象選定の方針を説明した。深層防護の実装に関し、第3層と第4層は単一故障と多重故障で区分するか、敷地周辺一般公衆放射線被ばくが5 mSv以上と以下で区分するか、考え方を整理することとした。また、許認可対象事象選定の方針に関し、設計基準事故(DBA)、DBAとひとつの緩和機能喪失の重畳を考慮した事故シーケンス(DEC-I)及びDBA判断基準を超過する事故シーケンスのうち許認可対象事象に選定する事故シーケンス(DEC-II)の仕分けの考え方を整理し資料に反映することとした。</p> <p>5. その他 第5回委員会は6月6日開催予定。対面とオンラインのハイブリッドで実施する。</p>
備考	